

2022年5月25日発行

第29号 ぴぼっと 南光台通信

地域生活サポートセンターぴぼっと南光台



VOL.0029

秋保大滝

発行： 社会福祉法人つどいの家地域生活サポートセンター「ぴぼっと南光台」
責任者： 三浦 郁美（管理者）
住所： 981-8003 仙台市泉区南光台 3丁目 1-24
連絡先： TEL 022-779-7341 FAX 022-779-7342



センター長より



日頃より「ぴぼっと南光台」をご支助いただき、ありがとうございます。

4月よりセンター長に着任しました三浦です。昨年度は福センター長として在籍していました。

いつの間にか地域生活サポートセンターでの勤務も15年を超え、地域生活支援の魅力ややりがいを感じながら、これまで楽しく仕事を続けていくことができました。私が最初に地域生活支援事業に携わったのは、当時「ぴぼっと支倉(青葉区支倉町)」で運営していたホームヘルプサービス事業「かぜ」でした。ヘルパーという個別の支援、慣れない運転での訪問、社会人2年目、電動付ではない自転車での通勤など、自分なりに必死だったことを覚えています。

ぴぼっと南光台も2月、4月と新たに職員が入職し、一生懸命に利用者の方々に関わっている姿や車の運転練習をしている姿を見ると、昔の自分を見ているようで「うんうん。元部長様〜!」と心の中で密かにエールを送っています。(当時、私を指導してくださった先輩職員たちも同じ気持ちだったのだろうか・・・)

新年度を迎え、今回は例年以上に職員体制の変化がありました。きっと事業所、職員個人のそれぞれにとって「挑戦」や「飛躍」の1年になると予感しています。福祉は人と人との関りが中心ですので上手くいかなかったり、少し立ち戻ったりすることもあると思いますが、みんなで考え、チームワークで乗り越える事業所にしていきたいと思っています。

私も管理者1年目。初心に戻り、新しい職員たちに負けず、いろいろな事に挑戦していこうと思います。良い意味で“管理者らしくない管理者”を目指し、利用者の方々ともたくさん関わっていきつもりです。



地域の皆さんにも「ぴぼっと南光台」のことを、今以上に知っていただけるよう情報発信をしていきたいと思っています。今年度もどうぞよろしくお願い致します。

三浦

総務



一生懸命と息抜き
のバランスを大切に、
健康的な1年に
にしたいです!

センター長 みうら 三浦 いぐみ 郁美



事務所の暑さ、
寒さに負けず、
今年もほどよく
がんばります。

事務 やまぐち 山口 まなみ まなみ

管理者が変更になりました。事務は今年も変わりません(^)/
力を合わせて「ぴぼっと南光台」をしっかりと支えて参ります!!





たかはし かずや
高橋 和也
チーフ

すてっぷ・はうす日中一時支援／短期入所事業

すてっぷ・はうすでは、しょうがいのある方のご家族が病気などの様々な事情で介護ができない時や日々の介護から離れてホッと休息したい時などに、ご家族に代わって一時的に介護や送迎を行なっています。

昨年度に引き続き、コロナ感染対策を行いながら、少し規模を狭めての受入れとはなりますが、利用者さんと楽しく過ごしていきたいと思っております。今年度もすてっぷ・はうすをよろしくお祈いします。



さとう かずのり
佐藤 一範



さとう きょうこ
佐藤 享子



よこやま かな
横山 加奈
新入職員



ながめ けいこ
永沼 佳子
非常勤

☆ご確認ください☆

ご提出いただいている受給者証の利用有効期間が過ぎている方がいらっしゃいます。

新しく更新された際には忘れずにご提出ください！

ホームヘルプサービス事業

ぺんたす



ただいま参上！

「ぺんたす」では、居宅介護(入浴や家事支援)、重度訪問介護(常時介護が必要な重度の方への状況に応じた支援)、同行介護(視覚に障害がある方への支援)、行動介護(行動障害が強い方への支援)、移動支援(外出の支援)といったサービスを提供しています。

新任職員研修報告

現在ヘルパーの資格を取るために勉強中です！先輩ヘルパーさんたちの力を借りながら、利用者さんやご家族、地域の方々と温かい関係が築けるように頑張ります！



新任職員研修

今回、新任職員研修に参加させていただき、法人の行動指針に沿って、「人権の尊重」、「意思を大切にすること」、「チームワーク」、「リスクマネジメント」、「地域とのつながり」、「家族との交流」、「使命感と誇り」という7つのテーマに沿って、各事業所の管理者よりお話をいただきました。2つ目の「意思を大切にすること」では、利用者役、職員役の二人一組となり、「今日の朝ごはんは何か」「昨日の夜どんなテレビを見たか」をテーマに会話をするというロールプレイを体験しました。利用者役では、表情や目の動きだけで伝えることの難しさや、伝わらないもどかしさを感じ、職員役では、相手の言いたいことを読み取ることの難しさを感じました。その後、八木山つどいの家の管理者より、「自分の思いをずっと汲み取ってもらえなかったら、利用者さんは、だんだん感情を表に出さないようになってしまう」というお話があり、支援をしていく上で、利用者さんのサインに気付くことがどんなに大切かということを実感させられました。意思決定支援とは、本人の中で思いを作るのを支援する「意思形成支援」と、その思いを外に出せるように支援する「意思表出支援」が合わさって成立するものであるそうです。例えば、パン屋さんでパンを選んでもらう場面では、利用者さんが食べたいパンを選べるように、そのパンがどんなものなのか分かりやすく説明したり、Yes=手をたたくという形で表現できるようにしたりというように。今回の研修を通して、つどいの家の職員として利用者さんやご家族、地域の方々と関わる上で必要な考え方や姿勢を確認することができました。今後は「自分だったらどんな風に接してほしいか」という視点を忘れずに、様々な方との関わりを深めていきたいと思います。

(ぺんたす 長沢)

宮城学院女子大学幼児教育学科卒。

中高はソフトテニス、大学ではよさこい部でした！
まだまだ未熟ですが、楽しく皆さんと関わっていきたいです。



ハラスメント研修

研修に参加し、ハラスメントにはさまざまな種類が存在することが分かりました。パワーハラ、セクハラ、モラハラ……。これらの言葉は聞いたことがありましたが、それらの意味や具体的な内容、その他のハラスメントについて、どこか「自分には関係ない」と思っていた部分があったのかな、と研修内容を振り返っています。しかしこの仕事は人と人との関わりが大きいです。大きいというか100パーセントです。無意識の発言が相手を傷つけるかもしれない、そして自分も何かかきつけで傷つくかもしれない、そう考えると関係ないわけがないのです。「ハラスメント=いやがらせ」だそうです。どこからがハラスメントにあたるのか、その判断が難しいと思います。しかし、「これはいやがらせではないか？」と本人や、その周りの人が思った時、それはハラスメントになってしまうのではないかと考えます。自分は何とも思わない言葉でも、受け取り方は一人ひとり異なることがあります。相手を尊重する気持ち、思いやり気持ちを持ち続けることが大切だと思います。ぴぽっと南光台には、日々利用者の方々がいらっしゃいます。今回の研修を通して、利用者の方や介護人さん、職員等が気持ちよく過ごせるような関係づくり、そして環境づくりを心がけていきたいと思いました。

(すてっぷ・はうす 横山)

ちょこっとコラム～支援について考える～

『こだわり』

皆様は「こだわり」をお持ちでしょうか？私は、納豆は、朝食の時だけ食べることが「こだわり」になっています。私が支援している方々もさまざまな「こだわり」をお持ちです。例えば、私の場合納豆を夕食に食べることになっても我慢ができますが、支援している方々は「こだわり」を急に変更されると、パニックになることがあります。これはいずれも個性によるものとされています。ですので「こだわり」に配慮した支援が必要です。

私たちは「移動支援」という外出を支援するサービスを提供しています。外出先でもいつも同じ経路で、同じ店や場所を訪れる「こだわり」をお持ちの方の支援をお話します。

言葉によるコミュニケーションだけでは詳しく次の行動を知ることができませんので、今までのパターンを思い返しなから支援をしています。そうすることによって反対方向に向かう時があっても、あの場所に訪れることを忘れていたのだな？と、推測することができます。新しいパターンの場合もあります。

時間配分も大切です。「～できない。」というのは、支援を受ける方にとって大きなストレスになります。以前、利用の最後にカラオケをしてから帰宅をする利用があったのですが、待ち時間が長く、利用時間が無くなったため「今回はカラオケ無し。」と提案し、その場では受け入れて頂けたのですが、その場から離れてから大声を出してしまうパニックを起こした失敗、ご迷惑がありました。それ以来、やりたい事ができなくなりそうな時には、今していることを切り上げないとあれはできなくなってしまう、又はAかBを選んでくださいね、と声がけをして、今後の見通しがつく働きかけを早めに行っています。今では「次も一緒に外出しようね！」との言葉を頂いております。

(ぺんたす 土生)

職員随想 第12弾

はるのうらの

すてっぷ はうす
佐藤 一範

春ですね。今年の桜前線の早いこと早いこと。あっという間に桜も散ってしまっ、もう5月。4月になると溪流釣りの解禁となるのですが、今年は雪が多かったせいで水量が多く、残雪も行く手をはばむ状態です。

溪流釣りを教えてくれたのは自分が新入社員の30年前、強面のとっつきにくく、上司にははっきりとものを言う癖のある先輩でした。糸とはりだけ持って、竿は枝や竹でエサは川虫、仕事中現場近くの川で。見よう見まねで糸を落とすも釣れるわけもなく。そのうち先輩は次々と釣ってはりリリースを繰り返して、20以上も年が離れていたが上流へ早い、早い。

じっとせず短気な方が釣りに向いている意味が解ったような気がした。

本音が嘘か岩のかげの魚の顔がみえるらしい。その先輩も自分が在職中に退職された。

いい季節になったなあ、毎年糸を川の流りにのせると思い出す師への想いととも。



資格は必要ありません！

介護スタッフ募集(すてっぷ・はうす)

「すてっぷ・はうす」ではしょうがいのある方の日中一時支援事業と短期入所事業を行っています。

しょうがいのある方のご家族が病気などの理由で介護ができない時、また、日々の介護から離れてホッと、ひと休みしたい時などにご家族に代わって一時的に宿泊での介護や日中時間帯の介護、それに関わる送迎を行なっています。



学校や通所施設が終わった時間から夕方までの数時間や休日の日中に利用される方、又は、宿泊される方と「すてっぷ・はうす」の建物内で一緒に過ごしていただきます。音楽を聴いたり、お散歩をしたりおやつを食べたりと自由に過ごされる利用者さんと、お話しなどをしながら過ごし、必要な介助をします(トイレ、食事、入浴など)。

◎経験や体力に応じて、ご都合のあう時間に利用される方とマッチングをして依頼をいたしますので、安心してご応募ください。

※短時間勤務、日中のみ・宿泊のみの勤務、WワークOK

資格 不問 ※福祉のお仕事が未経験の人たちも活躍しています！
給与 1時間 920円～ ※交通費支給 (時間外・深夜割増手当・資格手当等あり)
たとえば… 日中3時間 2,760円 宿泊1泊(17時-10時) 18,170円

まずはお気軽に見学いらしてください!!ご連絡お待ちしております。

☎022-779-7341 平日10時~17時 《すてっぷ・はうす 高橋》

利用者の方々と一緒に音楽を聞いて過ごしたり、のんびり買い物へ行ったり、お話をして過ごしたりする時間は、とても癒され楽しかったです！宿泊の際、作ったごはんを残さず食べてもらえた時は、とてもうれしかったです！学校では学べないことを学ぶことができた場所でした。分からないことがあれば職員が教えてくれて、やさしくて居心地がよかったです。

【学生介護スタッフ 令和4年3月卒業】

会議、勉強会、サークル活動などに、サロン室をご利用いただけます。

時間: 平日の10時~12時 または 13時~15時の間
(他の時間帯についてはご相談ください)

料金: 1回につき500円

お電話でご予約ください。

受付は平日10時~18時 ☎022-779-7341

※コロナ感染症対策の為、人数は8名まで、飲食はご遠慮いただいております。

社会福祉法人 つどいの家
ホームページ 採用サイト



先日、ご近所の方から、手袋をたくさんいただきました。
清掃作業や草取りなど環境整備の際に使わせていただきます。
ありがとうございました。



編集後記 びぼっと南光台通信は年間4回発行の予定です。たくさんの方に読んでいただけたらと思っております。事務 山口